



ピアノの気義

エース たけお

青山ライフ出版

ピアノの
気義きぎ

エース たけお

それは、ある日のことだった。
・
・
・
・
・

その日、ピアノストの桜歩さくらほ 咲木さき（23）は、山道を散歩がてら、歩いていて、これは、彼の気分転換の一つの方法であり、よく、自然豊かな山の中を歩いていた。

・
・
・
・
・

そうして、依然として、ピアニストの桜歩 咲

木は、山の中を歩いていた。

・
・
・
・
・
・

そうして、依然として、ピアニストの桜歩 咲

木は、山の中を歩いていた。

・
・
・
・
・
・

だが、そんなある時であつた。

「!!」

ピアノストの桜歩　咲木は、繁みの奥の方で、何かの動物が動いているような物音に気づいていき、そちらの方を中心に辺りを注意深く見ていつていた。

「・・・」

そうした所、別に、その後は、動物が動いているような物音はせず、又、普通に歩き出していった。

・
・
・
・
・

そうして、依然として、ピアニストの桜歩 咲

木は、山の中を歩いていた。

・
・
・
・
・
・

そうして、依然として、ピアニストの桜歩 咲

木は、山の中を歩いていた。

・
・
・
・
・
・

だが、再び、また、

「!!」

ピアニストの桜歩　咲木は、何かの動物が動いているような物音に気づき、辺りを見ていくと、

「!!」

繁みの奥の方に、巨大なクマが一頭、こちらの方に向かって動いてきていた。

「・・・」

そうして、ピアニストの桜歩　咲木は、急いで逃げ始めていき、クマは、彼を追い始めていった。

・
・
・
・
・